

田園回帰の時代

～ 鶴岡に人と仕事をとりもどす ～

定員100名(※要申込) 参加無料

日時

平成31年 **3月10日**(日)
14:00開会(13:30～受付)

会場

先端研究産業支援センター
レクチャーホール(中央高校隣)
鶴岡市覚岸寺字水上246番地2

講演

ふじやま こう
藤山 浩 氏

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長

1959年島根県生まれ。一橋大学経済学部卒。博士(マネジメント)。専門は中山間地域政策、地域計画、地域人口分析、地域づくり、GIS分析。高校教諭、島根県中山間地域研究センター研究統括監などを経て、2017年に一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所を設立し所長に就任。内閣府や総務省などの国の有識者委員会にも数多く参加。主な著書に「田園回帰1%戦略～地元にと仕事をとり戻す」「地域人口ビジョンをつくる」「循環型経済をつくる」など。現在、島根県益田市に、日本一の清流・高津川の河畔の岩山に新居を構え、田園生活中。冬は、29年間にわたり、100%薪ストーブで暖房。毎年6トンの薪割り趣味。

地域人口分析・予測シミュレーションとは？

地域ごとの人口の現状をわかりやすく分析し、そのまま現状の推移が続いた場合の将来予測に加えて、地域人口の安定化に向けて必要とされる定住人口増加人数や出生率向上、若者の流出抑制などの「処方箋」を具体的に算出し、目に見える指標として地域に提供するものです。

公募により選定した市内12のモデル地区では、分析の結果を踏まえ、現状と予測を比較したきめの細かい計画づくりや地域づくり活動に活用していただきます。

各指標を達成することで安定化へ



取組発表

三瀬地区自治会

たけうち ひでかず
事務局長 **竹内 秀一** 氏

三瀬自治会では、2012年から自治会主催の婚活事業に着手。暮らしの面では、高齢者宅の玄関前の除排雪を地区の若者らが担う「スノースーパー」を結成するなど特色ある取組を展開しています。

最近では、地区内の空き家の片付けや移住希望者への斡旋などにも精力的に取り組んでいます。

藤山氏をナビゲーターに、これらの三瀬地区自治会の取組事例に分析結果を重ね合せ、人口減少社会において求められる取組のヒントをひも解きます。

申込

鶴岡市役所企画部地域振興課

TEL : 0235-25-2111 FAX : 0235-25-2990

E-mail : chiikishinko@city.tsuruoka.yamagata.jp